

事務事業名	地域子育て支援センター事業(委託)	所属部	子ども政策局	所属課	子ども政策課
総合計画体系	政策名	〈Ⅲ〉支えあい健やかに暮らせるまち〈保健・医療・福祉〉	所属G	総務政策グループ	課長名 後藤 和子
	施策名	〈25〉子育て支援の充実	担当者名	郷原 絹代	電話番号:0854-40-1044 (内線):2252
	目的・対象	A)子どもの保護者と産み育てたい夫婦 B)乳幼児・児童・生徒(0~18歳)	意図	A)安心して子育てができる。B)心身ともに健やかに育つ。	
	基本事業	〈074〉子育て相談の充実	予算科目	会計 款 大事業 大事業名 0:1:1:5:0:3 児童福祉事業 項 目 中事業 中事業名 1:0:0:5:0:6 地域子育て支援センター事業(委託)	
目的・対象	保護者	意図	子育ての悩みが相談できる。		

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
主として在宅で保育されている就学前児童及びその保護者	子育て中の親子同士が交流を深めたり、スタッフ(子育ての知識と経験を有する者)に相談することにより、子育ての負担や悩みを解消し、ゆとりを持って子どもに対応することができるよう育児力を向上させる。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H16 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	地域や家庭におけるより良い子育て環境をつくるために、子育てに関する相談と同世代の親子の仲間づくりを支援する場として、また子育て情報提供の拠点施設として子育て支援センターを設置している。子育て家庭の親とその子ども(主として概ね3歳未満の児童及び保護者)を対象としている。大東、加茂、掛合子育て支援センターの3施設について業務委託している。(R4年度については、コロナにより一部休止した施設がある。)
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R4年度実績(R4年度に行った主な活動) ・子育て親子の交流の場の提供と交流の促進 ・子育て等に関する相談、援助の実施 ・地域の子育て関連情報の提供 ・子育て及び子育て支援に関する講習等の実施	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) 育児相談事業との連携により、より育児家庭支援の充実につながった。支援センターで顔を合わせるうちに子育てサークルが発足するなどし、子育てサークルの育成にもつながっている。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(計画)
A 年間利用者数(支援センター直営委託合計・延人数)	人	13,885	16,568	16,348	17,000
I 年間延利用者数(委託)	人	5,462	5,045	6,425	7,000
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R4年度決算)	② コストの推移	単位	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(計画)	
<主な支出> ・委託料 22,791千円 【財源内訳】 国:子ども・子育て支援交付金 7,597千円 県:子ども・子育て支援交付金 7,597千円	財源内訳	国庫支出金	千円	6,888	6,907	7,597	7,716
		県支出金	千円	6,888	6,907	7,597	7,716
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円	6,888	6,907	7,597	7,716
事業費計		千円	20,664	20,721	22,791	23,148	

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	子育て中の悩みをもつ保護者の負担を軽減するための事業として定着している。子育て家庭の保護者と子ども(主として概ね3歳未満の児童とその保護者)と一緒に利用することができる。市全体で5箇所ある子育て支援センターのどこでも利用できる。市の健康推進課が実施する育児相談とも連動している。
② 事業実施するうえでの課題	利用者が利用しやすいものになるように、土曜日開所箇所数を増加した。今後は日曜日や祝日の開所を検討する必要がある(父親の育児参加促進にもつながる)。利用者が利用しやすい場所への出張サロンの増加など工夫が必要である。
③ 課題解決に向けた改革改善等	土曜日を開所しているのは、令和3年度まで木次子育て支援センター1か所のみであったが、令和4年度から、加茂子育て支援センターでも土曜日を開所することとなった。(当初は隔週で開催。)掛合子育て支援センターは掛合体育館で開催している分室をやめ、R4年7月から保育所内で実施し、運営が効率化できた。R4年6月から、大東子育て支援センターで行っている出張版(木馬)の場所を移転した。